



入 卦 台

令和4年3月31日発行
男鹿市立潟西中学校
校長 鳥井 雅則

第12号

新たな18通りのステージへの旅立ち



3月10日(木)に第67回卒業証書授与式を行いました。これで本校の卒業生は、6,375名を数えます。歴史と伝統を誇る本校に新たな歴史が刻まれました。コロナ禍で来賓の皆様のご招待はかないませんでした。たくさんの保護者やご家族の皆様にご出席いただきました。返事、所作、答辞と送辞、そして美しい歌声、凜としたすばらしい卒業式でした。卒業生の保護者の皆様、3年間の本校教育において、多大なご支援をいただき誠にありがとうございました。感謝の気持ちで一杯です。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。それぞれのステージへ向けての旅立ちを祝すとともに、18名の生徒一人一人の一層の活躍を、職員一同、祈念しています。



卒業生代表 嵯 ○ ○ ○

答 辞

弥生、三月。柔らかく温かい日差しが降り注ぐ、春。新しい命が芽吹くとともに、私たちは卒業を迎えます。

三年前、少し大きめの制服に身を包み、これから起こる出来事に期待と不安を抱えながら迎えた入学式。慣れない環境に苦戦しました。私は初っぴなから校内で迷子になり、先輩に教室へ案内してもらいました。しかし今となっては、勉強や部活動、学校行事、仲間とのつながりを通して、多くのことを学んだこの三年間があっという間に感じられます。二年生、後期から生徒会活動の中心となり、学校をよりよくしようと、より高みを目指そうと、みんなで考え話し合いました。働くことの意義を学んだ職場体験。寿司を二千個近くつくる仕事で、社会の厳しさを実感した人がいました。世の中、そんなに甘くないと感じました。そして迎えた、三年生。新型コロナウイルスの変異株が広がり、その勢いは今でも収束しませんが、それでも、三年生の学校生活は、休校することなく過ごせました。最後になった、体育祭や潟中祭。私たちは先頭に立って引っ張る立場となり、成功へ向けて一丸となって頑張りました。今年度も通常どおりの開催とはなりませんが、全校生徒一人一人が活躍し、感動と達成感を味わえるすばらしいものとなりました。

在校生の皆さん、皆さんの目には、私たちはどんな先輩に映っていたでしょうか。後輩の手本になれるよう、自分たちなりに頑張ってきたつもりです。今まで私たちについてきてくれてありがとうございます。この学校のこれからを、皆さんに託します。この潟西中学校の有終の美を飾るのは、他でもない皆さんです。どうか、自分たちらしく進んでください。

目標に向かって、日々練習に打ち込んだ部活動。部を引っ張る立場にあり、人一倍悩んだり、目標に届かず悔し涙を流したり、いろいろなことがありました。部活動を通して努力し、悩むことで、私たちは生きていくために必要な経験値を得ることができました。あの時間は、私たちにあって一生の財産です。いつも熱心に指導をしてくださった先生方。理解ができなくて何回も説明していただいたり、テストで悪い点数をとったり、たくさん困らせてしまっただごめんなさい。先生方の楽しい授業や、温かいご指導のおかげで、今、将来に進むことができます。ありがとうございます。そして、三年間私たちを担任してくださった澤木先生。普段は明るく、時には厳しく、たくさんの大事なことを指導してくださりました。本当にお世話になりました。

十五年間支えてくれた家族のみんな。口答えしたり、心配を掛けたり、たくさん迷惑掛けてごめんなさい。できの悪い子どもだと思わせたかもしれないし、ひどい言葉を言って傷つけてしまったかもしれないけど、本当は心の中で、一番そばにいて応援してくれたみんなに感謝しています。いつもは恥ずかしくて伝えられなかった気持ちを、みんなを代表して言います。いつもありがとうございます。これからも迷惑を掛けるとは思いますが、もう少し見守ってください。

そして、何年間もずっと同じ時を過ごし、同じ教室で学んだ仲間たち。小学校からほとんど変わらないクラスだったけれど、ついに離れてしまいますね。今までのみんななどの思い出は、一言では言い表せません。あの休み時間の馬鹿話や、取っ組み合いなど、何気ない日常がたまらなく楽しくて、学校に行きたくない時でも、みんながいるからと思って乗り越えられました。教室に響き渡る笑い声が、いつも思い出されます。けんかや仲間割れもたくさんしましたね。その度に、私たちは成長を重ねてきました。このクラスだからこそ学べたこと、経験できたことがたくさんあったと思います。離れていても、それが消えることはありません。卒業をしてから、また中学校時代に戻りたくなくても、戻ることはできません。しかし、辛いことがあっても、私たちはもういかなる困難をも乗り越えようとする気持ちをもっています。自分の力を信じて、互いに頑張っていきましょう。

いよいよ、本当に卒業です。私たち十八名は、潟西中学校での経験や思い出を胸に、限りなく可能性の広がる未来へ、今羽ばたきます。最後になりますが、私たちを巡り合わせてくれた奇跡と、今まで支えてくださった全ての方々に感謝を申し上げ、答辞といたします。

4月の行事予定

1	金	開校記念日 職員会議 生徒を語る会 学年部会 春季休業日等～5日
4	月	職員会議 学年部会
5	火	部活動担当者会議 学年部会
6	水	新任式・始業式 式場準備 教科書配付 部活動顔合わせ 臨時時間割開始～12日
7	木	入学式 13:30 
8	金	②交通安全教室 ③身体測定・視力検査 ④個人写真撮影 ⑤新入生歓迎会
11	月	1年知能検査
12	火	⑥集会指導・総合ガイダンス
13	水	職員会議 I期時間割開始
15	金	生徒会任命式・各委員会 防災集会
19	火	全国学力・学習状況調査(3年) 尿検査
20	水	P T A・文化体育活動後援会総会
25	月	学校運営協議会(CS) 学校納金振替日
27	水	生徒総会 いじめゼロ集会 市P連三役会
29	金	昭和の日 五里合地区祭典
30	土	市郡春季体育大会～5/1 生徒出校※2日(月)が振替休業日

年度末人事異動により、次の先生方がご退職・ご
栄転します。新しい学校でも頑張ってください。

- 細川 ○先生 (ご退職)
- 戸祭 ○先生 (男鹿東中へ)
- 藤澤 ○先生 (五城目第一中へ)
- 成田 ○先生 (鹿角地域振興局へ)
- 安田 ○先生 (秋田西中学校へ)

細川 ○先生
潟西中勤務は二度目
でした。赴任した当時、20
年ほど前に潟西中学校や
五里合中学校で関わった
生徒たちが、現潟中生の
保護者として、また地域
の一員として活躍してい
る様子を知ることができ
、とてもうれしく感じ
ました。現在の潟中生も
可能性豊かで素晴らしい
です。三年間、お世話に
なりました。ありがとう
ございました。

戸祭 ○先生
17年ぶりに勤務した潟
西中で、「数学はロマン
だ!」をスローガンに生
徒の皆さんと一緒に楽し
い時間を過ごすことが
できました。一年間、本当
にありがとうございました。
生徒の皆さんへ
「分からないことやでき
ないことがあっても、そ
れを大事にしてください。
それから目を背けないで
ください。それがあなた
の伸びしろです。」

安田 ○先生 一年間の短い間でしたが、大変お世話にな
りました。皆さんと過ごした毎日はとても楽しく充実したもので
した。この学校を離れるのがとても辛いです。でも、前に進まなけれ
ばいけません。潟中生の皆さんも前を向いて一歩ずつ進み、大きく
成長していくことを心から願っています。改めて感謝申し上げます。

送 辞

うらかな早春の
日差しの中、校門の
桜の木も新芽を吹
き出すように、卒業
生の皆さん、ご卒業
おめでとうございます。
在校生を代表し、心
よりお祝い申し上
げます。



在校生代表 石〇〇〇

卒業生の皆さんは、この三年間をどのように振り返っている
でしょうか。大きな期待に胸をふくらませ、たくさんの出会い
があった入学式。汗を流し、全校生徒でつくり上げた体育祭や
潟中生。そして共に笑い合い、泣き合った、もう二度と戻らな
い、当たり前だった前にもあった毎日。常にマスクをしていな
ければならない状況下ですが、そのマスクの下には、たくさんの笑
顔があふれかえっていたことでしょう。この三年間で色鮮やか
な思い出を築き上げ、それに伴い、一回りも二回りも成長され
てきたと思います。私たち後輩は、そんな先輩方の姿に憧れ、
いつだって背中を追いかけました。今、卒業生の皆さんと
の思い出を振り返ると、私たちが在校生を支え、力強く優しく先
頭に立ち、後に続く道をつくってくれていたのだと改めて気付
かされます。それは、私たちに与えてくれたかけがえのないもので
す。

まぶしい日差しの中、全員が汗を流し、互いを高め合った体
育祭。何度も何度も練習を重ね、心が一つになったダンスパフ
オーマンズは、記憶の中に深く刻まれています。一人一人が主
役となり、輝きに満ちていた潟中生。二つのチームに分かれ競
い合った合唱コンクールは、皆さんが中心となり、体育館全体
にすばらしい歌声を響かせました。自分の限界を超えようと、
真剣に向き合った部活動。全員が目標に向かい、数々の栄光を
残しました。泣き、笑い、お互いを支え合った、最後の大会。
最後まで諦めず、必死に前を向いていた姿は、とてもかっこよ
く、脳裏に焼き付いています。私たち後輩にとってもあの感動
と喜びは忘れられず、今でも自分を奮い立たせる原動力となっ
ています。

皆さんが卒業した後、あんなに笑い声にあふれていた、にぎ
やかな教室が静まりかえり、誰もいない教室を見ることになる
と思うと、心にぽっかり穴が開いてしまいくらいです。しかし、
私たちは前を向き、先輩方が私たちに残して下さった姿を胸
に、日々精進していきます。先輩方が築き上げた潟西中学校の
輝かしい歴史のページと想いは、間違いなく私たち後輩へと
受け継がれています。人から人へ受け継がれた想いは、永遠に
絶えることなく、一人一人それぞれの胸に刻まれるものとなる
はずですよ。

皆さんとの思い出を話せばきりがありませんが、少しずつお
別れの時間が迫ってまいりました。卒業生の皆さん、今まで本
当にありがとうございました。風が強く、寒さの厳しい冬に耐
え、新芽を出した校門の桜の木のように、次は皆さんが新たな
芽を出し、大きな花を開花させる番です。この潟西中学校で
得られた皆さんの経験、日々積み重ねた努力はかけがえのない
ものとなり、皆さんの未来につながることを信じています。こ
れ先、先輩方が進まれる道には楽しいことや希望で満ちあふれ
ているはずですよ。もちろん、時には厳しく、苦しい壁が待ち受
けているかもしれません。どうしてもならない時は一度足を止
め、この潟西中学校で過ごした三年間の思い出、友人、先輩、
お世話になった先生方の思いを糧に、未来を切り拓いてくだ
さい。私たち後輩は、いつでも心から応援しております。

今日卒業される皆さんの、未来へ続く無限の可能性が、光輝
くものであることを願って送辞といたします。いつまでもお元
気で。さようなら。またいつか。

ありがとうございます

藤澤 ○先生
潟西中に勤務した5
年間は、私の中でとて
も印象深い日々でし
た。自然豊かな環境、
素直で何事にもがんば
る生徒、学校を大切に
思ってくださる温かい
地域の皆様に囲まれ
て、恵まれた毎日を通
じることができました。
これからも応援団
であり続けます。本当
にどうもありがとうご
ざいました。

成田 ○先生
初めての公立学校勤務
ということで最初は大変
でしたが、先生方や生徒、
保護者の皆様に支えられ
ながらなんとか勤めてき
ました。生徒たちと一緒に
様々な出し物をしたこ
とや、陸上競技部のお手
伝いをさせてもらったこ
とは一生の思い出です。
本当に様々な方に助けら
れながらの4年間でした。
関わった全ての方に心か
ら御礼申し上げます。